

| | | | |
|----------|---|-------------|------------------------------|
| 科目 | 応用建築設計製図II (Advanced Architectural Design and Drawing II) | | |
| 担当教員 | 田島 喜美恵 助教 | | |
| 対象学年等 | 都市工学専攻・1年・後期・選択・2単位 | | |
| 学習・教育目標 | A4-AS1(100%) | JABEE基準1(1) | (d)1.(d)2-a,(d)2-d,(g) |
| 授業の概要と方針 | ここでは幼稚園の設計を行う。特定の敷地を題材として、敷地の周辺環境を読み解く技術、さまざまな要求を整理統合する技術などを小規模な幼稚園の設計を通して学ぶことを目的とする。なお、この教科は応用建築設計製図Iを踏襲した上での教科に位置付けられているため、応用建築設計製図Iも併せて履修しておくことが必須である。 | | |
| | 到達目標 | 達成度 | 到達目標毎の評価方法と基準 |
| 1 | 【A4-AS1】幼稚園を設計することができる | | 提出図面にて評価する |
| 2 | 【A4-AS1】幼稚園の模型を制作することができる | | 提出図面における模型写真にて評価する |
| 3 | 【A4-AS1】プレゼンテーションができる | | 提出図面のレイアウトおよびプレゼンテーションにて評価する |
| 4 | 【A4-AS1】作成したものを第三者にわかりやすく伝えることができる | | プレゼンテーションにて評価する |
| 5 | | | |
| 6 | | | |
| 7 | | | |
| 8 | | | |
| 9 | | | |
| 10 | | | |
| 総合評価 | 成績は、プレゼンテーション10% 幼稚園の図面（平面・立面・断面）70% 模型写真および図面の加工・レイアウト20% として評価する。100点満点で60点以上を合格とする。 | | |
| テキスト | 適宜プリントを配布 | | |
| 参考書 | やさしく学ぶ設計製図, 松下希和 著, 2011, エクスナレッジムック コンパクト建築設計資料集成, 日本建築学会, 2005, 丸善 | | |
| 関連科目 | 応用建築設計製図I, 建築計画, 建築計画概論, 土木・建築設計製図IV, 応用CAD, CAD基礎 | | |
| 履修上の注意事項 | 前期の応用建築設計製図Iを受講していること | | |

授業計画 1 (応用建築設計製図II)

| 回 | テーマ | 内容(目標, 準備など) |
|--------|--|---|
| 1 | 幼稚園の課題説明と敷地見学 | 課題説明を行った後, 建設予定地として設定している敷地見学を行う。 |
| 2 | 敷地分析 | 敷地分析などの手法やエスキスなどを繰り返し, 形を形成していくことを学ぶ |
| 3 | エスキスとコンセプトワーク | エスキスを繰り返しながら, コンセプトを固めていく |
| 4 | 幼稚園の図面制作1 | エスキスなどをしてラフで完成した図面をもとに, CADや手書きで具体的な図面の作成を行う。 |
| 5 | 幼稚園の図面制作2 | 引き続き, 図面の作成を行う |
| 6 | 幼稚園の図面制作3 | 引き続き, 図面の作成を行う |
| 7 | 幼稚園の図面制作4 | 引き続き, 図面の作成を行う |
| 8 | 模型の制作1 | 制作した図面をもとに, 模型製作を行う |
| 9 | 模型の制作2 | 引き続き, 制作した図面をもとに, 模型製作を行う |
| 10 | 模型の制作3 | 引き続き, 制作した図面をもとに, 模型製作を行う |
| 11 | 模型の制作4 | 幼稚園の模型だけではなく, 外周や外構や植栽, 遊具なども模型で完成させる |
| 12 | プレゼンテーションの技術1 | 制作した図面や模型写真を元に, 提出図面の効果的なプレゼン, レイアウトの手法を学ぶ。 |
| 13 | プレゼンテーションの技術2 | 作成した図面などをデザインソフトにて着色・加工などを行い, より伝えたいイメージを具体的にしていく |
| 14 | プレゼンテーションの技術3 | 模型写真も様々な角度から撮影し, 内観パースに見えるよう, デザインソフトにて加工を施し, 提出用紙にレイアウトを行う |
| 15 | プレゼン発表と講評会 | 制作した図面をもとにプレゼンテーションを行い, そのデザインについて活発な討論を行う。 |
| | | |
| | | |
| | | |
| | | |
| | | |
| | | |
| | | |
| | | |
| | | |
| | | |
| | | |
| | | |
| | | |
| | | |
| | | |
| | | |
| | | |
| | | |
| | | |
| | | |
| | | |
| 備 考 | 本科目の修得には, 30 時間の授業の受講と 60 時間の自己学習が必要である。 中間試験および定期試験は実施しない。提出図面および模型写真, プレゼンテーションにて評価する | |